

## 5. 新たな交通手段の検討及び課題整理について

### (1) 周辺市町村における公共交通の運行状況

河合町の周辺市町村における公共交通の運行状況を表 5.1 に示す。

#### 公共交通の種類

周辺市町村のうち、広陵町や大和郡山市、天理市等でコミュニティバスを導入しており、三郷町、田原本町では、乗合タクシーを導入している。

宇陀市では、コミュニティバス、乗合タクシーの両方を導入している。

#### 運行形態

運行エリアについては、三郷町で王寺駅での降車が可能となるよう町外まで運行されているが、その他の事例では、自市町内の運行となっている。

運行形態については、定時定路線型の運行が多くなっているが、三郷町、田原本町、宇陀市では、デマンド型運行を行っている。

デマンド運行をしている3市町のうち、三郷町、宇陀市の場合では、停留所を定めないドア・ツー・ドア型の運行を行っているのに対して、田原本町では、乗降箇所を限定し、停留所間を予約に応じて運行する形態となっている。

#### 利用料金

多くの市町村においては、利用料金を収受する有償運行としているが、広陵町、香芝市では無償で運行している。

利用者の利用料金については、1回当たりの固定料金としているケースが多く、大人1回あたり100円～350円と安価な設定となっている。

表 5.1(1) 周辺市町村における公共交通の運行形態

内容	河合町	三郷町	田原本町	広陵町
車両タイプ	福祉ワゴン	乗合タクシー	乗合タクシー	コミュニティバス
運営主体	河合町福祉部 社会福祉協議会課	三郷町地域公共交通会 議	地域公共交通活性化協 議会 町商工会へ委託	地域公共交通活性化協 議会
運行主体	河合町	竜田タクシー	西村タクシー(有)	奈良交通(株)
運行エリア	町内	町外(王寺駅)含む 区域運行	町内のみ 区域運行	町外(大和高田市、国 保中央病院)含む
運行形態	定時定路線運行	デマンド運行	デマンド運行	定時定路線運行
乗降箇所	停留所のみ 22カ所	ドア・ツー・ドア	停留所のみ 205カ所	停留所のみ 53カ所
利用料金	無償	有償 定額運賃 町内 300円 王寺駅降車 500円	有償 定額運賃 大人 300円 小人 150円 未就学児以下無料	無償
利用対象者	特に限定しない	事前登録者 町民のみ	事前登録者 町民のみ	特に限定しない
使用車両	ワゴン車 1台	中型セダン 3台(+予備2台)	中型セダン 1台(+予備1台)	ワゴン車 2台 (10人乗+7人乗)
運行時間	8:55~17:10 毎週月曜日及び 12/28~1/4 運休	9:00~17:00 三室病院利用は 7:30~利用可能 土日祝日及び 12/29~1/3 運休	9:00~18:00 休日運休	7:30~18:00 休日も運行

表 5.1(2) 周辺市町村における公共交通の運行形態

内容	宇陀市		大和郡山市	天理市	香芝市
車両タイプ	コミュニティバス	乗合タクシー	コミュニティバス	コミュニティバス	コミュニティバス
運営主体	宇陀市地域公共交通活性化再生協議会	宇陀市地域公共交通活性化再生協議会	大和郡山市地域公共交通総合連絡協議会	天理市地域公共交通活性化協議会	香芝市地域公共交通活性化協議会
運行主体	奈良交通(株)	奈交宇陀タクシー(株)	奈良交通(株)	奈良交通(株)	奈良交通(株)
運行エリア	市内のみ	市内のみ	市内のみ	市内のみ	市内のみ
運行形態	定時定路線運行	デマンド運行	定時定路線運行	定時定路線運行	定時定路線運行
乗降箇所	大宇陀南部線:25カ所 榛原大野線:16カ所	ドア・ツー・ドア	元気城下町号:16カ所 元気平和号:23カ所 元気治道号:27カ所	停留所のみ 23カ所	停留所のみ 11ルート51カ所
利用料金	有償 定額運賃 大人 350 円 小人 180 円 乳幼児無料	有償 定額運賃 大人 300 円 小人 150 円 乳幼児無料	有償 定額運賃 大人 100 円 小人 50 円 未就学児は無料	有償 定額運賃 大人 100 円 小人 50 円 未就学児は無料	無償
利用対象者	特に限定しない	事前登録者 市民のみ	特に限定しない	特に限定しない	特に限定しない
使用車両	ワゴン車 (10人乗) マイクロバス (18人乗) 計2台	タクシー車	ワゴン車 2台 (12人乗)	ワゴン車 1台 (12人乗)	ワゴン車 1台
運行時間	運休日:土日・祝日、年末年始	料金エリアを跨ぐ場合は、追加料金	運休日:土日・祝日、年末年始	-	運休日:木曜日・祝日(一部) 12月27日~1月4日

(2) 豆山きずな号の位置づけ

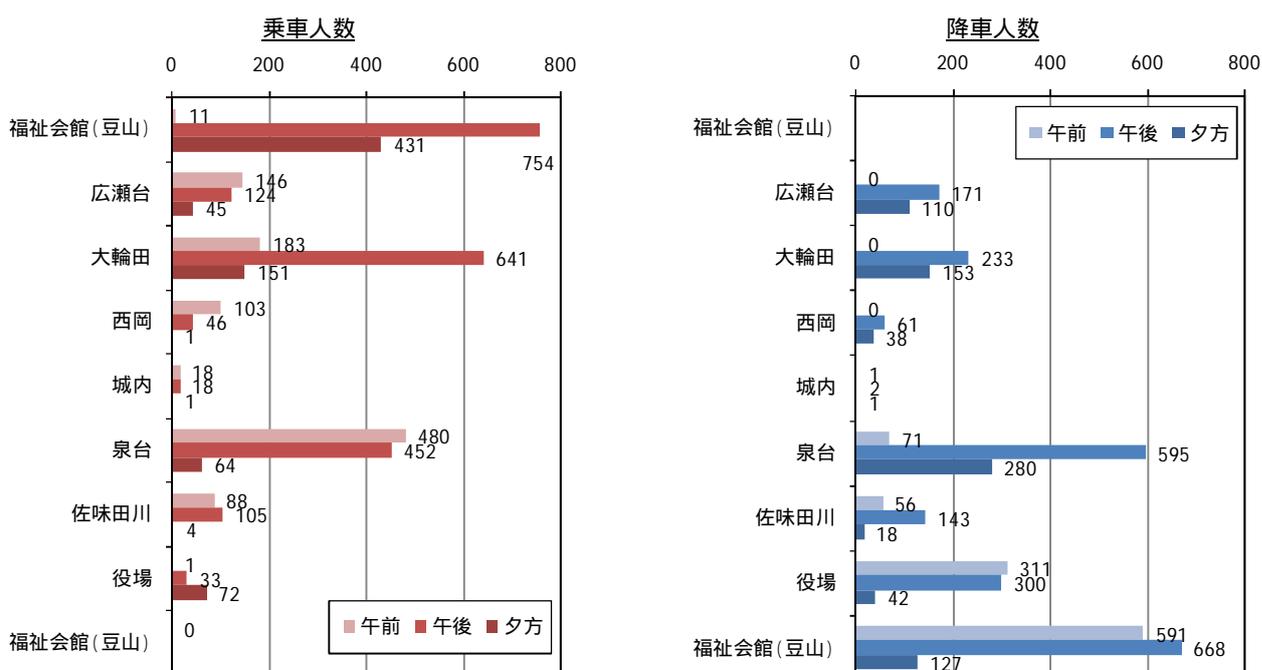
停留所別乗降客数

平成 23 年度における停留所別の乗降客数を以下に示す。

a) 大輪田・泉台ルート

乗車人数については、午前中は「泉台停留所」、午後は「福祉会館(豆山)停留所」「大輪田停留所」「泉台停留所」、夕方は「福祉会館(豆山)停留所」からの乗車人数が多く見られた。

また、降車人数については、午前中は「福祉会館(豆山)停留所」、午後は「泉台停留所」「福祉会館(豆山)停留所」、夕方は「泉台停留所」で降車人数が多く見られた。

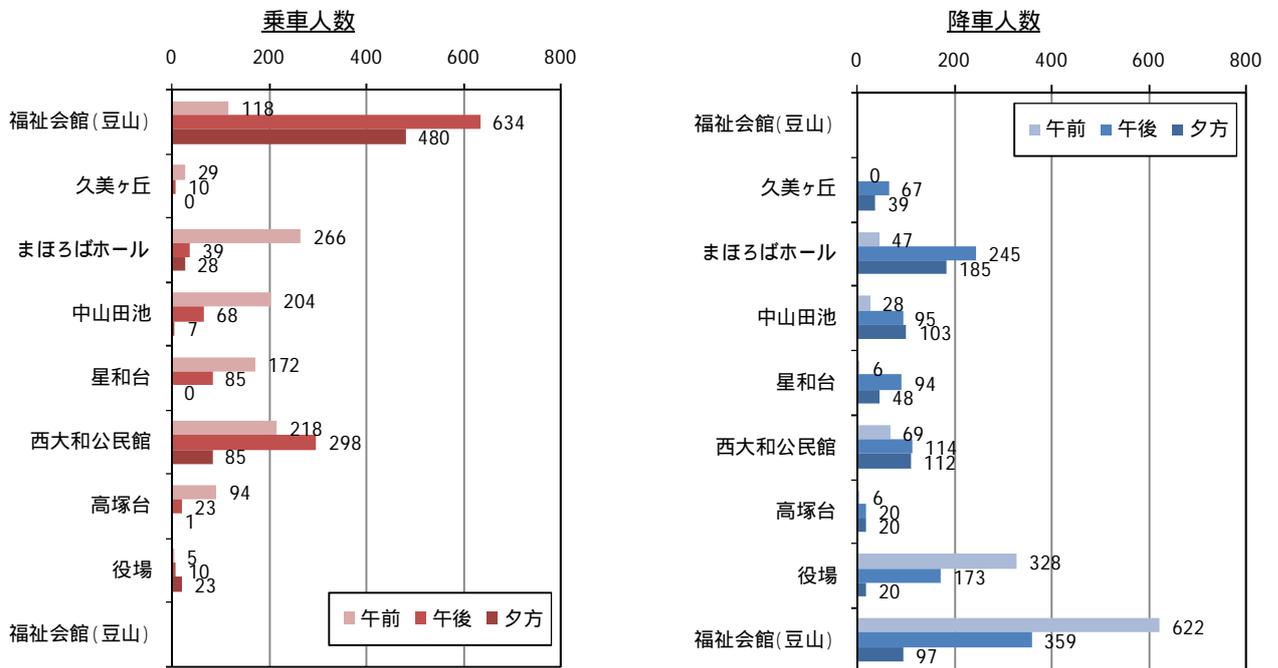


大輪田・泉台ルート		午前	午後	夕方	計
福祉会館(豆山)	乗	11	754	431	1,196
	降	-	-	-	0
広瀬台	乗	146	124	45	315
	降	0	171	110	281
大輪田	乗	183	641	151	975
	降	0	233	153	386
西岡	乗	103	46	1	150
	降	0	61	38	99
城内	乗	18	18	1	37
	降	1	2	1	4
泉台	乗	480	452	64	996
	降	71	595	280	946
佐味田川	乗	88	105	4	197
	降	56	143	18	217
役場	乗	1	33	72	106
	降	311	300	42	653
福祉会館(豆山)	乗	-	-	-	0
	降	591	668	127	1,386
計	乗	1,030	2,173	769	3,972
	降	1,030	2,173	769	3,972

b) 西大和ルート

乗車人数については、午前中は「まほろばホール停留所」「西大和公民館停留所」、午後及び夕方は「福社会館（豆山）停留所」からの乗車人数が多く見られた。

また、降車人数については、午前中は「福社会館（豆山）停留所」「役場停留所」、午後は「まほろばホール停留所」「福社会館（豆山）停留所」、夕方は「まほろばホール停留所」で降車人数が多く見られた。

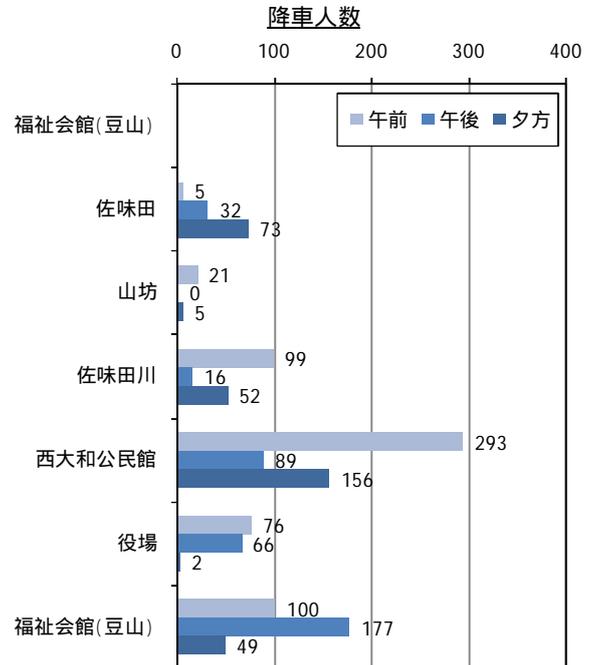
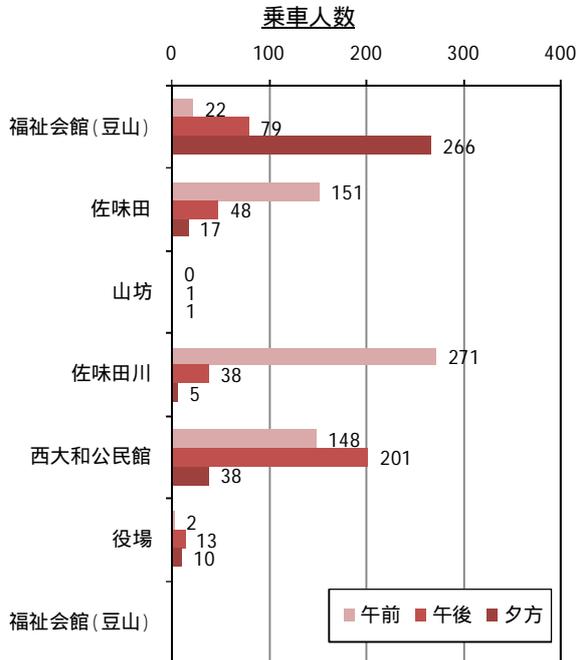


西大和ルート		午前	午後	夕方	計
福社会館(豆山)	乗	118	634	480	1,232
	降	-	-	-	0
久美ヶ丘	乗	29	10	0	39
	降	0	67	39	106
まほろばホール	乗	266	39	28	333
	降	47	245	185	477
中山田池	乗	204	68	7	279
	降	28	95	103	226
星和台	乗	172	85	0	257
	降	6	94	48	148
西大和公民館	乗	218	298	85	601
	降	69	114	112	295
高塚台	乗	94	23	1	118
	降	6	20	20	46
役場	乗	5	10	23	38
	降	328	173	20	521
福社会館(豆山)	乗	-	-	-	0
	降	622	359	97	1,078
計	乗	1,106	1,167	624	2,897
	降	1,106	1,167	624	2,897

c) 佐味田・西大和地区ルート

乗車人数については、午前中は「佐味田川停留所」、午後は「西大和公民館停留所」、夕方は「福祉会館（豆山）停留所」からの乗車人数が多く見られた。

また、降車人数については、午前中及び夕方は「西大和公民館停留所」、午後は「福祉会館（豆山）停留所」で降車人数が多く見られた。

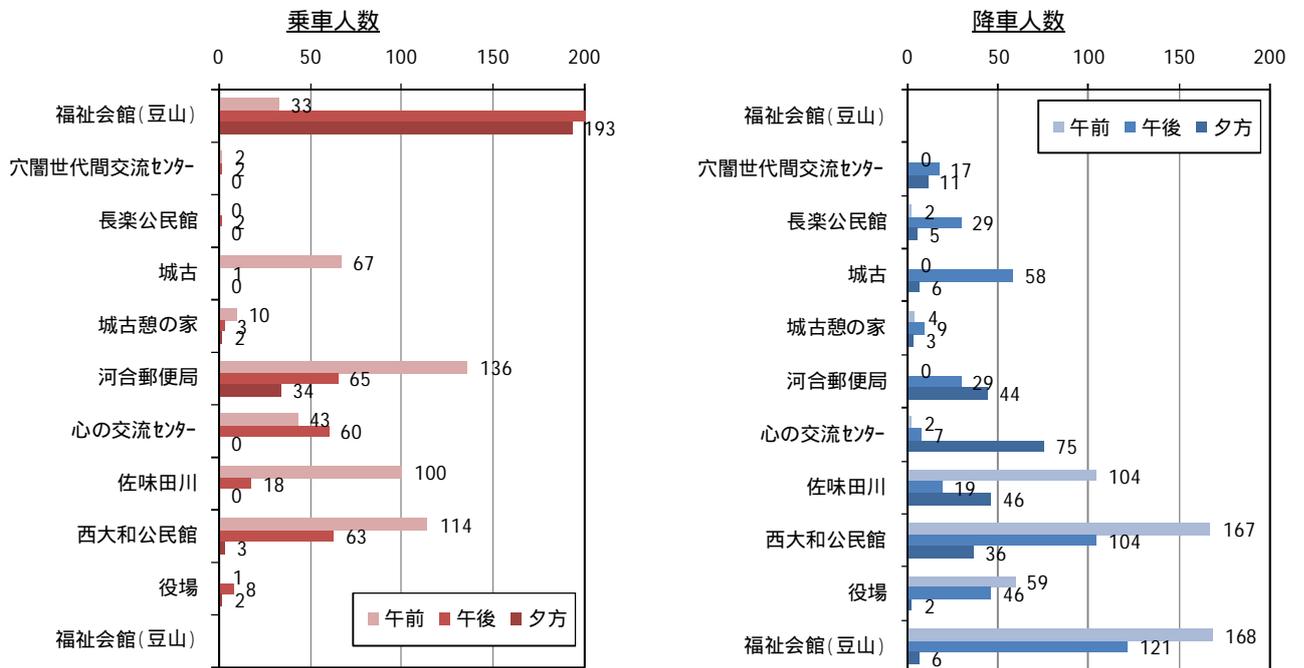


佐味田・西大和地区ルート		午前	午後	夕方	計
福祉会館（豆山）	乗	22	79	266	367
	降	-	-	-	0
佐味田	乗	151	48	17	216
	降	5	32	73	110
山坊	乗	0	1	1	2
	降	21	0	5	26
佐味田川	乗	271	38	5	314
	降	99	16	52	167
西大和公民館	乗	148	201	38	387
	降	293	89	156	538
役場	乗	2	13	10	25
	降	76	66	2	144
福祉会館（豆山）	乗	-	-	-	0
	降	100	177	49	326
計	乗	594	380	337	1,311
	降	594	380	337	1,311

d) 穴闇・長楽・川合・西穴闇・西大和地区ルート

乗車人数については、午前中は「河合郵便局停留所」「西大和公民館停留所」、午後及び夕方は「福祉会館（豆山）停留所」からの乗車人数が多く見られた。

また、降車人数については、午前中は「西大和公民館停留所」「福祉会館（豆山）停留所」、午後は「西大和公民館停留所」「福祉会館（豆山）停留所」、夕方は「心の交流センター停留所」で降車人数が多く見られた。



穴闇・長楽・川合・西穴闇・西大和地区ルート		午前	午後	夕方	計
福祉会館（豆山）	乗	33	217	193	443
	降	-	-	-	0
穴闇世代間交流センター	乗	2	2	0	4
	降	0	17	11	28
長楽公民館	乗	0	2	0	2
	降	2	29	5	36
城古	乗	67	1	0	68
	降	0	58	6	64
城古憩の家	乗	10	3	2	15
	降	4	9	3	16
河合郵便局	乗	136	65	34	235
	降	0	29	44	73
心の交流センター	乗	43	60	0	103
	降	2	7	75	84
佐味田川	乗	100	18	0	118
	降	104	19	46	169
西大和公民館	乗	114	63	3	180
	降	167	104	36	307
役場	乗	1	8	2	11
	降	59	46	2	107
福祉会館（豆山）	乗	-	-	-	0
	降	168	121	6	295
計	乗	506	439	234	1,179
	降	506	439	234	1,179

## 区間別乗降客数

平成 23 年度における豆山きずな号のルート別・区間別・時間帯別乗降客数の推移を以下に示す。

大輪田・泉台ルートにおいては、午前中及び午後は「大輪田停留所」からの乗車人数が増加し、「福祉会館（豆山）停留所」で降車する傾向がある。一方、夕方は「福祉会館（豆山）停留所」からの乗車人数が増加し、泉台停留所で乗車人数が減少する傾向にある。

西大和ルートにおいては、午前中は「まほろばホール停留所」からの乗車人数が増加し、「福祉会館（豆山）停留所」で乗車人数が減少する傾向がある。一方、午後及び夕方は「福祉会館（豆山）停留所」からの乗車人数が増加し、「役場停留所」で乗車人数が減少する傾向にある。

佐味田・西大和地区ルートにおいては、午前中は、「佐味田川停留所」からの乗車人数が増加、午後は「西大和公民館停留所」からの乗車人数が増加し、「役場停留所」で乗車人数が減少する傾向にある。一方、夕方は「福祉会館（豆山）停留所」からの乗車人数が増加し、「西大和公民館停留所」で乗車人数が減少する傾向にある。

穴闇・川合・西穴闇・西大和地区ルートにおいては、午前中は、「河合郵便局停留所」からの乗車人数が増加し、「福祉会館（豆山）停留所」で降車する傾向にある。一方、午後は「福祉会館（豆山）停留所」からの乗車人数が増加し、一度「城古停留所」で乗車人数が減少する傾向にある。その後再び「心の交流センター停留所」で乗車人数が増加する傾向にある。

また、夕方は「福祉会館（豆山）停留所」からの乗車人数が増加し、「心の交流センター停留所」で乗車人数が減少する傾向にある。

大輪田・泉台ルート	乗車人数			
	午前	午後	夕方	計
福祉センター（豆山）	11	754	431	1,196
広瀬台	157	707	366	1,230
大輪田	340	1,115	364	1,819
西岡	443	1,100	327	1,870
城内	460	1,116	327	1,903
泉台	869	973	111	1,953
佐味田川	901	935	97	1,933
役場	591	668	127	1,386
福祉センター（豆山）				

西大和ルート	乗車人数			
	午前	午後	夕方	計
福祉センター（豆山）	118	634	480	1,232
久美ヶ丘	147	577	441	1,165
まほろばホール	366	371	284	1,021
中山田池	542	344	188	1,074
星和台	708	335	140	1,183
西大和公民館	857	519	113	1,489
高塚台	945	522	94	1,561
役場	622	359	97	1,078
福祉センター（豆山）				

佐味田・西大和地区ルート	乗車人数			
	午前	午後	夕方	計
福祉センター（豆山）	22	79	266	367
佐味田	168	95	210	473
山坊	147	96	206	449
佐味田川	319	118	159	596
西大和公民館	174	230	41	445
役場	100	177	49	326
福祉センター（豆山）				

穴闇・長楽・川合・西穴闇・	乗車人数			
	午前	午後	夕方	計
福祉センター（豆山）	33	217	193	443
穴闇世代間交流センター	35	202	182	419
長楽公民館	33	175	177	385
植田板金前	100	118	171	389
城古憩の家	106	112	170	388
河合郵便局	242	148	160	550
心の交流センター	283	201	85	569
佐味田川	279	200	39	518
西大和公民館	226	159	6	391
役場	168	121	6	295
福祉センター（豆山）				

なお、「福祉会館（豆山）停留所」及び「役場停留所」を除く、乗降客数が多い停留所は、いずれも高齢者人口が200人以上の地域であり、豆山の郷の利用者を中心として、高齢者が多い地域での乗車が多くなっている。

停留所名	高齢者人口（人）
大輪田	305
心の交流センター	238
河合郵便局	202
泉台	261
佐味田川	310
西大和地区公民館	208
まほろばホール	764

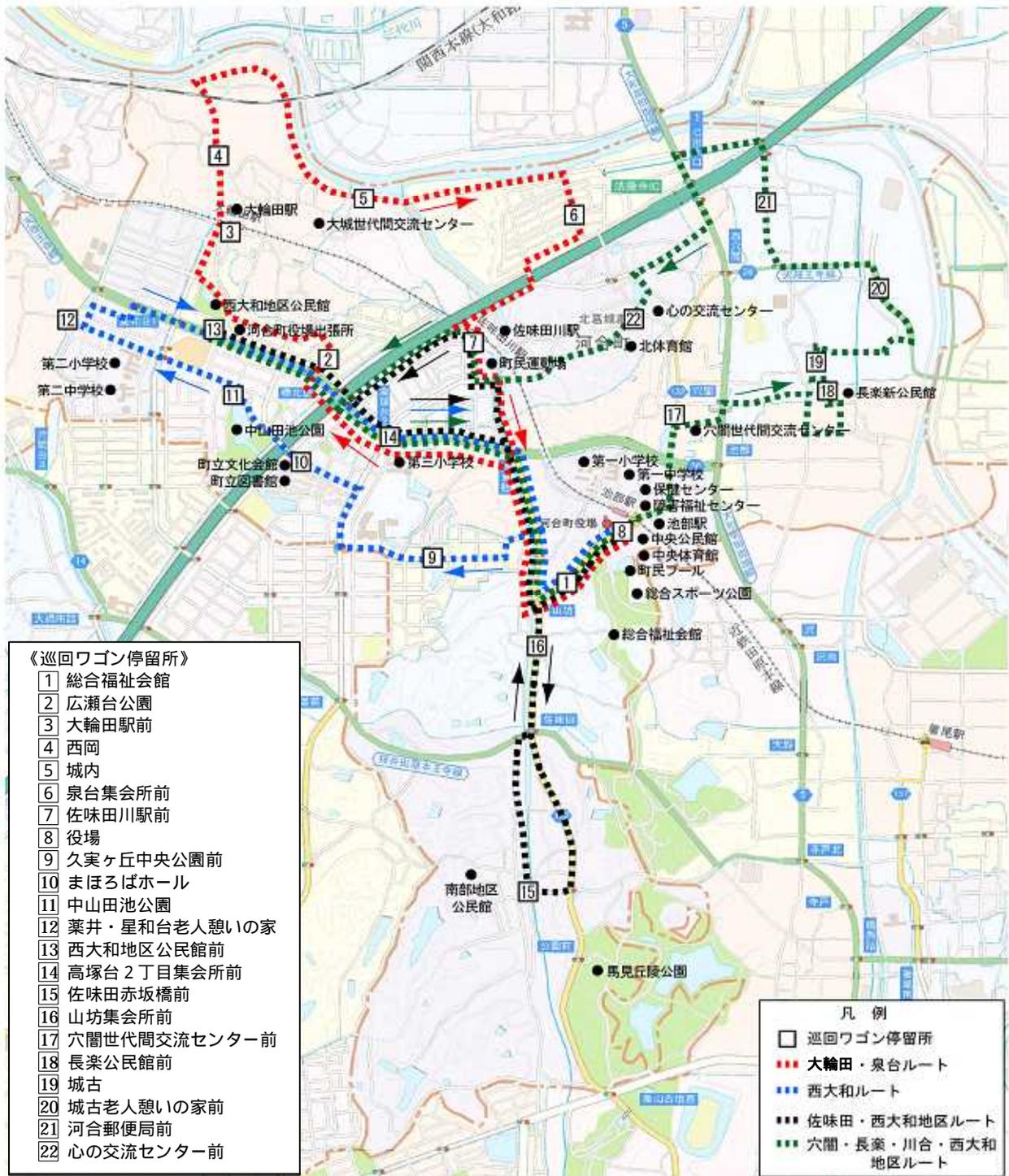


図 5.1 巡回ワゴンの路線・停留所

## 現状と課題

豆山きずな号の現状と課題として以下のような点が挙げられる。

- ・ 認知度が低く、利用促進のためには、町民への広報・周知活動の充実が必要と考えられる。
- ・ 利用者からは、運行本数が少なくて利用しにくいとの声もあり、見直し・再編等にあわせて利便性の改善が求められる。
- ・ 比較的利用者の少ないバス停もあり、利用状況等を踏まえたルート改善等が必要と考えられる。
- ・ 年間約 600 万円の運行経費がかかっており、利便性の向上に際しては、合わせて費用負担についても検討する必要がある。

### (3) 河合町における課題の抽出と新たな公共交通の考え方

河合町における現況及びアンケート結果の概要及び課題と検討の方向性について以下に示す。

河合町の現況及びアンケート結果の概要		課題の抽出と検討の方向性	
人口動態	◇過去10年間で人口が約1割減少し、今後も減少傾向が続くと予測されている	◆近い将来、自動車利用や家庭内での送迎が困難になる可能性が高い	◎人口減と高齢化に対応した日常活動（外出）を支援する公共交通手段の整備
	◇高齢者人口は、今後も増加傾向が続く将来的（H42）に、高齢化率は約4割		
就業・通学	◇就業者は減少傾向が続いている	◆通勤・通学等でも利用可能な鉄道駅端末の交通手段を維持する必要がある	◎既存公共交通手段との連携（鉄道駅へアクセスできる公共交通手段の維持・拡充）
	◇通勤・通学時の交通手段は、自家用車、鉄道が多い		
	◇通勤・通学時のバス利用の多くは、町外鉄道 駅までの利用となっている		
	◇通勤・通学先は、町外への移動が多い		
日常生活 主要施設・日常行動	◇町内には、小規模の診療所が立地	◆町外の大規模病院を含めた通院手段の確保が必要	◎生活行動圏域を踏まえ、町外施設へのアクセスを考慮した公共交通手段の設定
	◇大規模病院は、町外への通院が必要		
	■通院は、約6割の人が町外へ通院		
	■主な通院先は、三室病院・山下内科など		
	◇町役場は、鉄道駅に近接するものの、町東部・南部等からの公共交通手段は、巡回ワゴン等に限られる	◆町東部や南部から町役場や商業施設へのアクセス交通手段の確保が必要	◎豆山きずな号の再編を含め公共交通サービスの空白地域の軽減を図ることが必要
	◇イオン西大和店、万代河合町店などの大規模商業施設が立地		
	■買い物は、約7割の人が主に町内と回答		
	■主な買い物先は、イオン・万代など		
自動車保有	◇軽自動車の登録台数が拡大	◆運転できなくなった場合の代替交通手段の確保が必要	◎人口減と高齢化に対応した日常活動（外出）を支援する公共交通手段の整備
	◇人口あたりの自動車保有台数は増加傾向		
	■免許保有者の約9割は、自分で運転する		
既存公共交通サービス	◇鉄道・路線バスによるサービスを受けられない人は、河合町全体の37.4%		
バスの利用意向	■自動車の運転が困難になった場合、バスを利用したいとの回答が多い（約35%）	◆今後の高齢化に対応した公共交通手段が必要	
	■バスの利便性が向上した場合には、バスを利用したいとの回答もある（約21%）		
公共交通の利用経験	■路線バスの利用頻度は、高くない（月1回以上利用する人は、全体の約半数）	◆利便性の向上等による利用促進策が必要	◎豆山きずな号の再編を含め利便性の高い公共交通手段の整備
	■巡回ワゴンの利用頻度は、高くない（年に数回程度の利用が大多数）		
	■路線バス・巡回ワゴンともに、利用経験のある人は少ない（路線バス約4割 巡回ワゴン約1割）	◆広報・啓発活動等による利用促進が必要	◎公共交通に対する広報・啓発活動の充実・強化

※現況に関するコメントは、■はアンケート調査結果、◇は統計データなどに基づく内容

人口減少と高齢化に対応した日常行動（外出）を支援する公共交通手段の整備

人口減少予測、高齢化率の増加及び自動車の利用や家庭内での送迎が困難になる可能性があるという町民の利用意向を踏まえ、コミュニティバス等の今後の公共交通手段の導入にあたっては、以下のような施策の方向性が考えられる。

#### 【施策の考え方】

- ・ 町民の外出利便性を確保するために、自宅から徒歩圏までの公共交通サービスの提供  
（こまめに停車するコミュニティバス：フリー乗降等を含めた停留所の設定）  
（日常生活時間に合致する：デマンド交通等の導入）
- ・ 生活施設（商業施設・医療施設・公共施設）へのアクセス性の確保  
（導入地域と主要な買い物施設や医療施設、鉄道駅を結ぶ路線設定）

#### 【導入対象地区】

- ・ 公共交通空白地域が生じる町東部及び南部を中心とする。

生活行動圏域を踏まえ、町外施設へのアクセスを考慮した公共交通手段の設定

買い物等においてもイオン、万代等の町内施設の利用が約半数であるが、通勤・通学及び通院にはと町外施設の利用も多いことから、通院等の利用の多い三室病院や鉄道駅（町外鉄道駅）等を目的地として、以下のような施策の方向性が考えられる。

#### 【施策の考え方】

- ・ 町外施設までの直通運行（例：JR法隆寺駅～町南部への運行、三室病院への直通運行）
- ・ 既存路線バスとの競合をさけた路線設定（サービス圏内では主要施設のみ停車）

#### 【導入対象地区】

- ・ 公共交通空白地域が生じる町東部及び南部を中心とする。

既存公共交通手段との連携

通勤・通学等を含め、町外への移動で鉄道利用が多いことを踏まえ、鉄道駅へのアクセス性の確保、鉄道利用の利便性向上を目的として、以下のような施策の方向性が考えられる。

#### 【施策の考え方】

- ・ 鉄道駅のバリアフリー化・駅前広場整備等を含めた利便性の向上
- ・ 既存路線バスの利便性向上（運行ダイヤの調整等）
- ・ 新たな公共交通と鉄道及び路線バスのダイヤとの整合性（乗り継ぎ利用への配慮）  
（鉄道駅や拠点施設等の乗継ぎ拠点（ターミナル）化）

#### 【導入対象地区】

- ・ 鉄道駅及び町内の拠点施設を想定。（今後のバス路線設定などで考慮）  
（鉄道駅・既存商業施設、公共施設、馬見丘陵公園等を想定）

#### 公共交通サービスの空白地域の解消及び利便性の高い公共交通手段の整備

町では、福社会館への送迎を目的として、豆山きずな号を運行しており、実質的な公共交通サービスの一助を実施しているが、アンケート結果では、利用経験者は少ない。

今後の公共交通手段の導入においては、豆山きずな号の位置づけを再整理しながら、公共交通サービスの空白地域の解消とともに町民の外出頻度を向上させるような利便性の高い公共交通手段を整備していく必要がある。

#### 【施策の考え方】

- ・ 豆山きずな号における路線の拡充等により、公共交通空白地域の軽減を図る。
- ・ 豆山きずな号を含めた再編（路線再編、増便 等）

#### 【導入対象地区】

- ・ 既存バス路線網でサービスの確保されない地域  
町東部、南部及び大字大輪田周辺、久美ヶ丘2丁目周辺 等

#### 公共交通に対する広報・啓発活動の充実・強化

公共交通の利用が少ない現況では、交通事業者による独立採算性での事業は困難であり、行政の支援を前提としたサービスの提供が前提となる。そのため、公共交通サービスの提供にあたっては、町民の理解と協力が不可欠であり、公共交通に対する利用促進と啓発活動を行っていく必要がある。

#### 【施策の考え方】

- ・ 公共交通に対する広報、啓発活動
- ・ 豆山きずな号の広報・周知活動
- ・ 観光客の来訪（町役場～馬見丘陵公園等）にあわせたバス運行などの公共交通利用促進にむけた啓発活動など

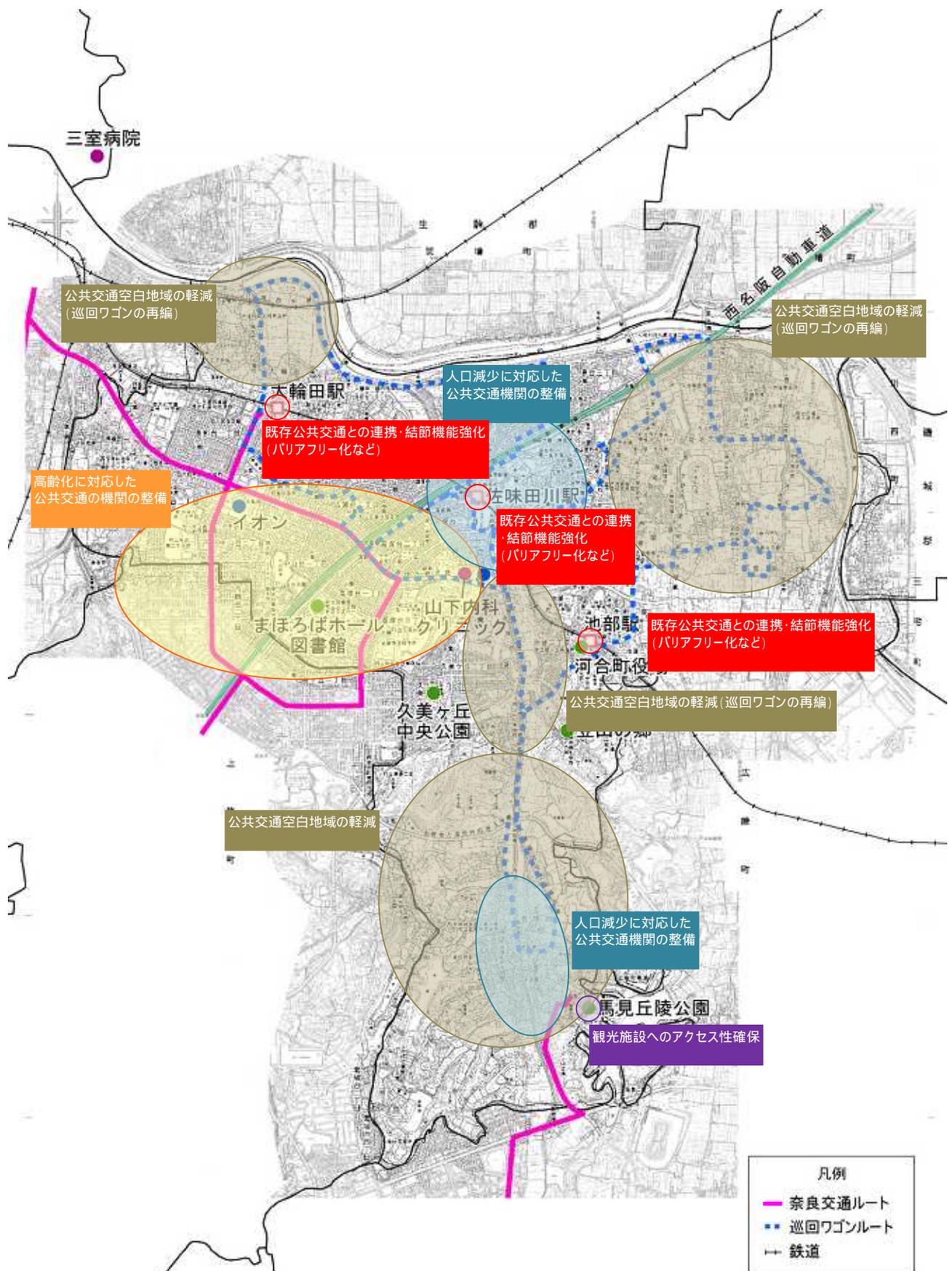


図 5.2 河合町における公共交通に関する課題